

次世代放射線シンポジウム（放射線夏の学校）2018 実施報告

2018.8.31 実行委員会

本年8月6日～8日にかけて、次世代放射線シンポジウム2018（第30回放射線夏の学校）を和歌山県白浜町にて開催いたしました。91名の参加者があり、8件の講義と66件にも及ぶポスター発表が行われました。シンポジウム開催場所のホテルグランパス inn を貸切る事により、滞りなく開催できました。今回のシンポジウムのメインテーマは間接変換型検出器に決めました。特に研究テーマとして間接変換型検出器を取り扱っている方々には比較的评价がよく、またそのことは関連事業を行っている産業界の方のご参加が多かったことから裏付けられているかと思われます。

・講義一覧

奈良先端大 柳田教授「光子計測用シンチレータ」

奈良先端大 河口准教授「粒子放射線計測用シンチレータ」

名古屋大学 渡辺准教授「間接変換型検出器－光ファイバを用いた応用－」

東北大学 越水准教授「放射線による励起密度の効果」

秋田大 河野助教「有機シンチレータ」

金沢工大 南戸教授「光刺激ルミネッセンス現象を利用したパッシブタイプドシメーター」

首都大 眞正准教授「熱蛍光ドシメータ Thermoluminescence dosimeter : TLD」

奈良先端大 岡田助教「RPL ドシメータ」



集合写真



ポスター発表の様子